

令和元年度 「長野ひまわり幼稚園 自己点検評価・関係者評価」

1、令和元年度の活動目標

【園の目標】

・一人ひとりの子どもが日々生き生きと生活できるように幼稚園全体でクロスオーバーして声を掛け合い。チームワークを生かした保育を追求する。

2、評価の基準

- A <十分達成できた> 優れた（水準・内容・環境・対応）である。 3.41～
 B <概ね達成できた> 妥当な（水準・内容・環境・対応）である。 2.41～3.40
 C <あまり達成できなかった> やや不十分な（水準・内容・環境・対応）で改善を要す。 1.41～2.40
 D <ほとんど達成できなかった> 不十分な（水準・内容・環境・対応）であり一層の改善を要す。 ～1.40

※【 （自己評価） （関係者評価） （保護者評価） 】

(R02.03.31)

評価項目	自己点検評価の内容	自己評価	関係者評価
I、保育の計画性 自己評価 (B) 関係者評価(B)	1 園の建学精神、教育理念、教育方針の理解	B	B
	2 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の理解	B	B
	3 教育・保育課程の編成と評価	B	A
	4 保育計画の作成	B	A
	5 環境の構成	B	B
	6 保育と計画の評価・反省	B	B
II、保育の在り方、幼児への対応 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 幼児のみとりと理解	A	A
	3 指導と関わり	A	A
	4 保育者同士の協力連携	B	B
III、保育者としての資質や能力・良識・適正 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 専門家としての能力・良識・義務	A	A
	2 組織の一員としての在り方	A	A
	3 まわりを感じ取れる感性・アンテナ	A	A
IV、保護者への対応・守秘義務 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 情報の発信と受信	B	B
	2 協力と支援	B	B
	3 守秘義務の遵守	A	A
	4 対応上のマナー、良識	A	A
	5 クレームへの対処の仕方	A	A
V、地域の自然や社会とのかかわり 自己評価 (B) 関係者評価(B)	1 地域の自然、人々とのかかわり	B	B
	2 小学校との連携	B	B
	3 地域の特性を生かした保育の展開	B	B
VI、保育者の専門性に	1 研修・研究への意欲・態度	B	B

関する研修と研究への 意欲・態度 自己評価 (B) 関係者評価(B)	2 保育者としての専門性に関する研修・研究	B	B
	3 遊具、教材に関する専門性の向上	A	A
	4 園内の環境に関する専門性の向上	B	B
	5 今日的課題（障害児福祉・危機管理他）に関する専門性の向上	A	A
	6 自らを高めるための学習	B	A
VII、保育の在り方、3 歳未満児への対応 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 乳幼児のみとりと理解	A	A
	3 指導と援助	A	A
	4 保育者同士の協力・連携	B	B
VIII、地域における子育て 支援 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 自園の子育て支援事業の理解	B	B
	2 環境設定	B	B
	3 支援の姿勢	A	A
	4 育児相談	A	A
	5 支援の評価・反省	A	A
IX、年間目標 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 目標の設定と実行	A	A
総合 自己評価 (B) 関係者評価(A)			

※134項目の評価比率

自己評価 A評価 71(53%) B評価 62(46%) C評価1(1%) D評価0(0%)

関係者評価 A評価 81(60%) B評価 52(39%) C評価1(1%) D評価 0(0%)

3、関係者評価 (活動目標の達成度と成果)

I 保育の計画性

《保護者の評価》

※ 無回答を除外し、A・B・C・Dを選択した数を分母としています。

【園の教育方針】

A優れている 84% B概ね妥当だ 15% C一部改善を望む 1% D評価できない 0%

【方法・内容の成果】

A優れている 79% B概ね妥当だ 20% C一部改善を望む 1% D評価できない 0%

【施設・設備】

A優れている 54% B概ね妥当だ 33% C一部改善を望む12% D評価できない1%

※ 《関係者コメント》

- ・保護者からの評価は前年度からさらに改善が見られた。
- ・指導が定着し有効に機能したことで計画、保育ともに充実している
- ・新任職員が増えたため、遠慮もあり自己評価の数値は例年に比べ低くなったと思われる。

II 保育の在り方、幼児への対応

※ 《保護者の評価》

【幼児への対応】

A優れている 78% B概ね妥当だ 21% C一部改善を望む 1% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・保育の内容及び保育者に対する保護者の信頼は十分な水準である。
- ・子どもの情報（様子）を保育者全員で共有し、誰でも適切な対応ができる体制になっている。
- ・人員配置により安全と一人ひとりへの配慮が充実した。

III 保育者としての資質や能力・良識・適正

※ 《関係者コメント》

- ・ベテラン保育者の経験による見識・良識とノウハウは若い職員の手本となっている。
- ・新人保育者は職業意識を持ち、ベテラン保育士から積極的に学ぶ姿勢がみられる。

IV 保護者への対応・守秘義務

※ 《保護者の評価》

【保護者への対応】

A優れている 74% B概ね妥当だ 23% C一部改善を望む 1% D評価できない 2%

【情報の発信】

A優れている 68% B概ね妥当だ 24% C一部改善を望む 7% D評価できない 1%

※ 《関係者コメント》

- ・保護者アンケートによる満足度は例年高く評価されている。
- ・明るく、公正、優しい対応は園の伝統であり保護者の信頼を得ている。
- ・自己評価では守秘義務は遵守されているとの回答が100%で職業倫理が守られている。

V 地域の自然や社会との関わり

※ 《関係者コメント》

- ・近隣の施設に恵まれ、四季折々の自然が体験できる。
- ・園外でのびのびと体を動かす機会を多くもてた。
- ・住民との交流は限定的であり、今後拡充することを希望する。

VI 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度

※ 《関係者コメント》にあり

- ・副担任・フリーの配置により研修・講習に参加する環境が整い、必要な研鑽を行えるようになった。
 - ・発達、アレルギーなど個々に関心のある分野について積極的に学習機会を得る体制にある。
- また伝達講習することで全職員が知識を習得できる。

VII 保育の在り方、3歳未満児への対応

※ 《関係者コメント》

- ・担任と共にベテラン副担任を複数配置し、子どもが安心して園生活をおくれる体制になっている。
- ・子育て経験を持つ保育者のアドバイスは親切、適格で若い保護者からの信頼は厚い。

VIII 地域における子育て支援

※ 《関係者コメント》

- ・子育てサークル「さくらんぼ教室」の気持ちは高く、空き待ちの状態が続いている。親子での遊びの提供、子育て相談などプレ幼稚園としての活動は特に優れている。
- ・施設開放は開催数の増加を望まれている。

IX 年間目標の設定と達成

※ 《保護者の評価》

A優れている 76% B概ね妥当だ 23% C一部改善を望む 1% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・目標の設定は抽象的で、成果の評価は難しいと思われる。明確に成否が判断できる目標の設定が望ま

れる。

- ・職員の協力体制は年齢幅が縮小したことから良い関係となっている。

X 園に対する満足度（総合）

※ 《保護者の評価》

A優れている 88% B概ね妥当だ 12% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・保育者、保育方法への満足度は良好な水準にある。
- ・対応の難しい施設設備（駐車場・園庭）の改善は相変わらず大きな問題である。引き続き情報を集め解決への努力をお願いしたい。

4、令和2年度への課題

- ・3号認定の受け入れにより未満児保育が拡大する。未満児保育経験がある職員の配置と、施設整備を充実し、安全に保育が行えるよう期待します。
- ・職員が世代交代の時期にあたっていることから、必要な保育ノウハウと理念の継承を確実に行って欲しい。

5、令和2年度の目標

一人ひとりの園児がまわりの環境に適切に関わり、安全に健康に生活できるようチームワークよく保育する。